

# 藤水小学校だより

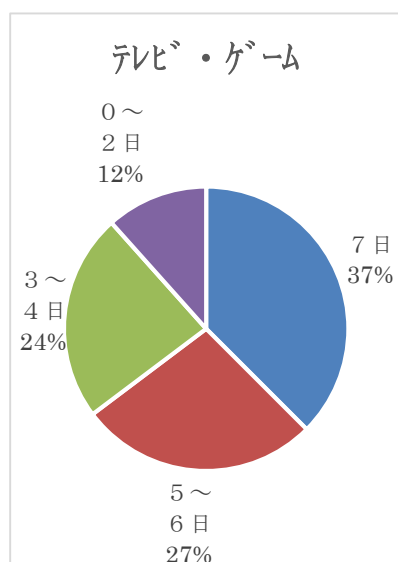
— ひと・もの・ときを大切に —

第11号

令和4年1月28日  
津市立藤水小学校  
TEL 059-228-3674

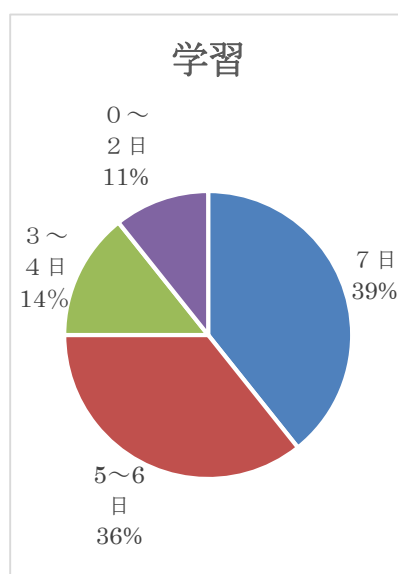
## 橋南中学校区「ノーメディアチャレンジ」の取り組み結果

毎年、橋南中学校区では、小中一貫した子どもたちの学力向上を目指して、生活チェックシートの中に「ノーメディアチャレンジ」の取り組みを含めて実施しています。保護者の皆様には、環境づくりやお子さんへの励ましなどをしていただきありがとうございました。今年度2回目の取り組み（11月）の結果から、4つの項目にしぼって、藤水小学校の児童の様子についてお知らせしたいと思います。



### ①テレビを見る時間・ゲームをする時間について

自分で決めた時間を守ることに毎日取り組めた児童は、37%でした。5～6日取り組めた児童は27%で、この結果から64%の児童は、週に5日以上は自分で決めたテレビやゲームの時間を守れていることが分かります。ただし、テレビやゲームの時間の設定が、ご家庭によって「30分～5時間」とかなりのばらつきがあり、今後、時間設定をどれだけにするかを考えていく必要があります。



### ②学習をする時間について

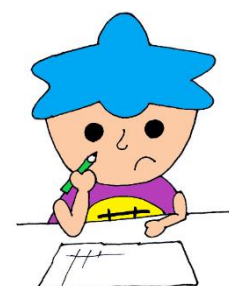
毎日自分が決めた時間に取り組めた児童が39%、5～6日取り組めた児童が36%で、75%の児童がだいたい平日の5日間は取り組めているということが分かります。この項目についても、児童によって設定している目標時間に、大きなばらつきが見られます。4月に配布しました「学習の手引き」に載せてある時間を参考に、日頃から家庭学習をする習慣をつけていけたらと思います。

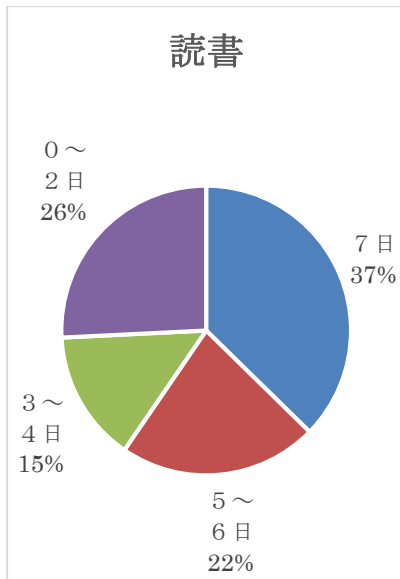
（参考 「学習の手引き」より）

低学年：20分～30分

中学年：30分～50分

高学年：50分以上

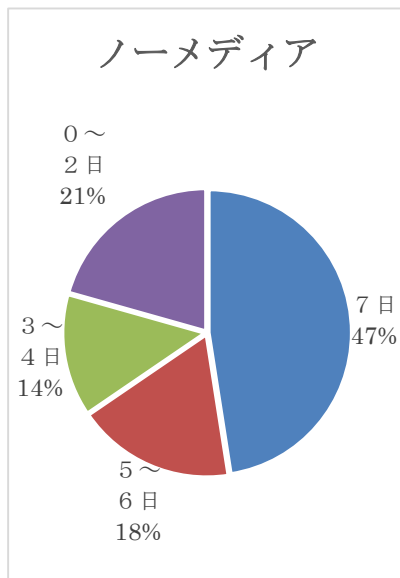




### ③読書について

毎日読書に取り組めた児童は37%、5～6日取り組めた児童は22%でした。また、0～2日という児童は26%おり、家庭での読書についてあまり行わない児童も多い傾向が見られます。子どもの読書量と知的発達には大きな関わりがあると言われます。読書の世界に浸ることで、自分の現実の世界ではできないような経験をすることができ、それが心の中の世界を広げ、想像力や判断力の向上につながるとも言われています。

学校では、2学期から月に1回1週間の読書Weekの期間を設け、朝の学習の時間を朝読とすることで、集中して読むという取り組みを続けています。



### ④ノーメディアについて

自分の立てた計画通りに、毎日ノーメディアチャレンジに取り組んだ児童は47%でした。週に5～6日取り組めた児童は18%でした。合わせて65%の児童が、週に5日以上は計画通りにノーメディアチャレンジに取り組めたことになります。逆に、0～2日しか取り組めなかった児童は21%と、あまり意欲的に取り組めなかった児童も多い傾向が見られます。



## 取り組みの結果から

時間を計画的に使って、家庭学習に取り組んだり読書の時間をとったりしている児童は、教科の学力が定着し、ゲームをする時間が長いほど学力が低くなるという研究結果もあります。また、ゲームには、神経伝達物質ドーパミンを放出させ、脳を興奮させる効果があるため、中毒性があるといわれています。「ゲームをしない、させない」ということではなく、「メディアとの正しい付き合い方を身に付け、自分で時間を決め、守る」など、自分でコントロールしていくことが大切です。学校では、この結果を参考に、子どもたちに「時間の計画を立てること」「読書をする事」などの大切さについて話していきます。ご家庭でも、お子さんの発達段階によって、ゲームやYouTube等のメディアに触れる時間を決めるなど、家庭での時間の使い方について、もう一度見直していただけたらと思います。